

「ピープルデザインが描くダイバーシティな未来」

～わくわくする仕事をハンディを持った方々に～

●趣旨

近年、就労支援事業所は増加をする中で、利用する障がい者の所得向上、仕事開拓がなかなか見込めない問題点がまだまだある。川崎市では障がい者の就労促進を図るために「課長のうしろ-behind your boss」の取り組みを開始。この事業は、社員が低価格でお菓子を食べること、普段立ち入りにくい課長席の後ろにBOXを置くことで、職位を飛び越えた職場内のコミュニケーションを創発すること、職場内で納品作業を行う障害者との接点を持ちながら企業内での多様性のある組織風土づくりを「食」を通じて自然と育むことに貢献することに意味がある。また地元との連携の中で何ができるのか、地元との連携での就労支援とは何かを改めて考え、この地域の資源である NPO や福祉団体とともに創りだした行政主導の仕組みから、北海道において、障がい者と社会をつなげるためにはどうしたらよいのか、当事者の所得の向上には何が必要か具体的な事例からその仕組みを学ぶ。

主 催：NPO 法人 障害者自立生活センターIL-ism

共 催：一般社団法人ゆめくる

と き：平成 29 年 3 月 25 日(土)午前 10：30～12：30

と こ ろ：札幌市社会福祉総合センター4 階 大会議室

〒060-0042 札幌市中央区大通西 19 丁目 1-1 /011-614-1001

参加対象：障がい者の雇用等を考えている企業・団体／障がい当事者／

障がい者の就労支援を行っている事業所・団体／教育関係者・学生

福祉に興味・関心がある方・まちづくりに関心のある方など

●プログラム：講演会

テーマ：「ピープルデザインが描くダイバーシティな未来

～わくわくする仕事をハンディをもった方々に～」

障がい者の自立生活を阻むものとして、「所得の低さ」、「社会とのつながり」のがある。その2つを解決した取り組みが川崎市で行われている「課長の後ろ」事業である。この仕掛けにより「仕事」として作業所で作られた製品を「会社」に届け、定期販売することにより、所得補償と社会のつながりをつくることができる。川崎市と包括協定を結んで、多様性のあるまちづくりを行っている「NPO 法人 ピープルデザイン研究所」のディレクターである田中真宏氏を迎え、「ピープルデザインの描くダイバーシティな未来とは何か」、「コミュニケーションチャーム」が生まれた背景、これまで実践されてきた地域のスポーツクラブと協働し行ってきた就労体験、渋谷ヒカリエで催事として行われた「超福祉展」等の活動内容などを含め講演いただくこととする。

講師 田中 真宏 氏 (NPO 法人ピープルデザイン研究所 ディレクター)

●事業所交流・展示・販売会

- ・市内を中心に障がい者の就労支援を行っている事業の展示販売を行う予定です。
- ・ピープルデザイン研究所が取り組んでいる就労支援作業所制作コミュニケーションチャームの販売や、講師の所属先であるピープルデザイン研究所 代表 須藤シンジ氏のご著書「意識をデザインする仕事」も販売いたします。

●参加方法・お問い合わせ先

参加方法：電話・FAX・メールにて申し込み

参加費：無料

問合せ先・申込先：自立生活センターゆめくる内 （担当 三井）

電話 011-596-0671／FAX:011-596-0672

メール info@yumekuru.net

○著書の紹介



←本の表紙は「コミュニケーションチャーム」

<http://www.peopledesign.or.jp/project/charm/>

困ったときに、誰にたずねたらよいか、一目でわかるチャーム。おしゃれアイテムとして、身に着けた人のそのままでは見えない気持ちを形に表している。

（シカノ考）

←意識をデザインする仕事「福祉の常識」を覆す
ピープルデザインが目指すもの 単行本

須藤シンジ（著）

出版社: CCC メディアハウス

ISBN-10: 4484132427 ￥1,728

○講師紹介



田中 真宏 氏

（ NPO 法人ピープルデザイン研究所 ディレクター ）

文化服装学院卒。スノーボードインストラクター、販売員、アパレル企画・デザインを経て、2009 年にネクスタイド・エヴォリューション社に入社。

2012 年、NPO 法人ピープルデザイン研究所設立と共に運営メンバーに。現在は両社のディレクターとして、様々な企画やイベントの運営を担っている。

○NPO 法人ピープルデザイン研究所のご紹介

<http://www.peopledesign.or.jp/> ←本体

<http://www.peopledesign.or.jp/fukushi/> ←超福祉展（福祉機器等の展示・体験）

<http://www.peopledesign.or.jp/project/kawasaki/> ←川崎市との取り組み

NPO法人障害者自立生活センターIL-ism宛
講演会参加申込書

(ふりがな) お名前	
ご住所	
ご連絡先	
年 齢	
所属団体(任意)	
ご職業(任意)	
会場でのお手伝い希望 有 ・ 無	どのようなお手伝いが必要ですか？

ご参加ありがとうございます。

こちらの用紙を FAX011-596-0672 または

メール info@yumekuru.net に添付してお申し込みください。